

第5回子どもフェスタ in 宇津 活動報告

2018年8月4日、5日

報告者：徳美咲都（人文学部・3年生）、山本裕花（人文学部・2年生）

2018年8月4日～5日の2日間にわたり「第5回子どもフェスタ in 宇津」が開催されました。両日とも天候に恵まれ、満足度の高いイベントになりました。

1日目の活動は、鮎つかみ～川遊び～ワークショップ～盆踊りの練習～花火です。自治会の方々が鮎やいけすを用意してくださいました。

開会式をして、自治会の方が鮎を捕まえるコツを教えてくださいました後に鮎つかみを開始しました。今年は参加者19名と、たくさん子どもたちが参加してくれたこともあり、鮎たちをすぐ捕まえ切りました。



自治会の方々の協力の元、捕まえた鮎を塩焼きにしました。調理している間に、子どもたちは川遊びをしました。いかだに水鉄砲、泳いだり流されたりキラキラとまぶしい笑顔を見ることができ、私たちも楽しい気持ちになりました。

鮎の塩焼きとお弁当を食べて、ワークショップをしました。今年は、灯ろう作りと紙皿や紙コップを使用した海の生き物作りをしました。休憩時にはスイカ割をしたりお菓子を食べたりしました。



ワークショップが終わり、みんなで夕食をとりました。メニューは地域の方々がつくったお野菜をたくさん使ったカレーです。カレーを食べた後は地域の方々が集まる盆踊りの練習に参加しました。地域の方や子どもたちと一緒に夏祭りで踊る「宇津の里音頭」と「丹波踊り」練習しました。その後、参加してくれた子どもたちと一緒に花火をして解散となりました。長い一日となりましたがとても充実した一日でした。

(徳 美咲都)

8月5日、午前子ども写真教室、午後から水遊び、写真の講評が行われました。昨日に引き続き、16名の子どもたちが参加してくれました。子ども写真教室では前回に続き、講師に京都精華大学で写真・映像を専門に教鞭を執る、亀村俊二先生にご教授いただきました。

この日は猛暑日で最高気温は39度にも上りました。長時間外で撮影をすることは難しく、テーマを設定し撮影を行うことに決まりました。テーマは『人を撮ろう』。暑かったので河原で涼をとりながら撮影をしました。



途中の休憩時間ではシャボン玉遊びもしました。風に乗って舞い上がるシャボン玉は子供たちに好評でした。昼食をとりながら講評に使用する写真を選別しました。よく動いたので皆美味しそうに食べていました。講評の準備が整うまでに水遊びをしました。水鉄砲で遊んだり川で泳ぐなど楽しみ方は子ども一人一人でちがいます。炎天下の昼頃だったのでいつも以上に気持ちがよく遊べたと思います。

最後に亀村先生に子どもの写真の講評をいただきました。前回の子ども写真教室に参加していた人は、前回に比べてスキルアップした点など続けることによる楽しみなどを発見できたのではと思います。今回初参加の子どもはまた次回も参加してほしいですね。参加した子供には後日、写真アルバムが配布されます。



(山本 裕花)